



2022 年 5 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [不具合 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

Cisco Webex の統合

Cisco Webex は、Cisco Spaces と統合されました。この統合により、**Webex Control Hub** アカウントの Cisco Webex デバイスは、**Webex Control Hub** と Cisco Spaces 間のクラウド間統合を実行できます。

この統合は以下をサポートします。

- [Webex Control Hub] からの Cisco Webex ワークスペース、デバイス、ワークスペースの場所、フロアの詳細などの Cisco Webex エンティティの同期。同期プロセスは、Cisco Spaces ダッシュボードでトークンが設定された後、3 時間ごとにバックエンドでスケジュールされます。**[Setup] > [Webex]** を選択して、トークンを設定します。
- Cisco Webex デバイスは、温度、電波品質、占有率などのデバイスデータを送信し、**Cisco Smart Workspaces** で使用されます。



(注) 現在、この統合は **Cisco Smart Workspaces** ユーザーのみを対象としています。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces のワンタイムアクセスコード

Cisco Spaces は、1 回限りのアクセスコードの作成をサポートするように機能強化されています。[Captive Portal] > [Access Code] > [Create Access Code] を選択して、新しい使い捨てアクセスコードを作成します。生成されたアクセスコードは1回限りの使用です。アクセスコードの作成時に、[Numeric] または [Alphanumeric] オプションのいずれかを選択できます。

新しいアクセスコードのステータスは、[View Access Codes] ウィンドウに [Available] と表示されます。アクセスコードを使用すると、ステータスが [Used] に変わります。

キャプティブ ポータル

Cisco Spaces キャプティブポータルでは、次の機能強化が加えられました。

キャプティブ ポータル ランタイムでのワンタイムアクセスコードのサポート

Cisco Spaces キャプティブポータルでは、1 回限りのアクセスコードがサポートされるようになりました。生成されたアクセスコードは1回限りの使用です。アクセスコードがすでに1回使用されている場合は、次のエラーメッセージが表示されます：アクセスコードが無効です。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

Cisco Spaces のこのリリースでは未解決の不具合はありません。

解決済みの不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 1: *Cisco Spaces* 解決済みの不具合

| 不具合の識別子 | 不具合の説明 |
|----------------------------|--|
| CSCwb99689 | マップフロア API 応答の先祖 ID が null であるため、クライアントが検出と位置特定アプリに表示されない。 |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。